2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名	はごろもフーズ株式会社		上場取引所　東
コード番号	2831	ＵＲＬ　https://www.hagoromofoods.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）後藤　佐恵子	
問合せ先責任者	（役職名）取締役　経営企画本部長　兼SDGs担当	（氏名）香田　賢治	ＴＥＬ　054-288-5200
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月９日

決算補足説明資料作成の有無：　有

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	39,917	2.6	2,021	△8.3	2,369	△7.7	2,386	31.0
2026年３月期中間期	38,916	0.5	2,204	0.5	2,567	4.6	1,821	1.6

（注）１.包括利益　2027年３月期中間期　2,840百万円（△25.5%）　2026年３月期中間期　3,812百万円（242.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	253.59	―
2026年３月期中間期	193.52	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	84,948	52,175	61.4	5,544.38
2026年３月期	80,393	49,664	61.8	5,277.52

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　52,175百万円　2026年３月期　49,664百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	35.00	―	35.00	70.00
2027年３月期	―	40.00			
2027年３月期（予想）			―	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有

2026年３月期中間配当金の内訳：普通配当30円00銭 記念配当５円00銭

2027年３月期中間及び期末配当金（予想）については、１株当たり35円から40円に変更しています。詳細は本日発表の「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,400	3.1	2,800	△11.0	3,400	△8.4	3,000	13.8	318.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	10,325,365株	2026年３月期	10,325,365株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	914,804株	2026年３月期	914,804株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	9,410,561株	2026年３月期中間期	9,410,561株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
３．2027年３月期中間期決算短信（連結）補足説明 …… 10
（１）売上高・利益の増減要因等 …… 10
（２）販売費及び一般管理費の内訳 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られたものの、長期化する物価高にともなう個人消費の停滞や節約志向の高まりにより、先行きは依然として不透明な状況が続きました。また、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの緊迫化に起因した原材料・エネルギー価格の高止まりや、為替相場の変動、物流費・人件費の上昇など、企業収益を取り巻く不確実性は一段と高まりました。

食品業界においては、生活防衛意識の定着を背景に高付加価値商品と値ごろ感を重視した商品への需要の二極化が進む中、原材料・エネルギー価格や物流費、人件費の上昇などがさらに続き、製造コストの増加傾向が継続しました。これにより価格競争は一層激化し、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Challenge ＆ Change for 100th！ ～もっとおいしく、もっと便利に、もっと優しく、そしてもっと元気に！～」に掲げる優先課題である製品ブランドの価値向上に取り組み、健康志向や利便性・簡便性といった機能価値を重視した製品の販売強化と新製品の開発に注力しました。主力の「シーチキン」においては、人気キャラクターとコラボレーションした製品の販売や消費者キャンペーンを通じて、新たな顧客層の獲得とさらなるファン創出に努めました。加えて、「シーチキン」「シャキッと！コーン」「サラスパ」といった当社の主力製品を使用したメニューを提案する「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルを展開し、あわせて売り場施策やメニュー提案を実施することで、さらなる需要喚起とブランド価値の訴求に努めました。その他のカテゴリーにおいても、動画配信等と連動した販売促進活動を実施し、ブランド認知の拡大に努めました。一方で、主原材料や容器包装資材、物流費等の値上がりにより製造コストが上昇したことから、一部の製品において価格改定を実施しました。

この結果、家庭用食品の販売は、主力の「シーチキン」や機能性を追求したパウチタイプの製品がお客様に支持されたこと等により増加しました。業務用食品の販売は、コンビニエンスストア向けの販売等が好調に推移し、当中間連結会計期間の売上高は399億17百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

利益面につきましては、売上高増加にともない売上総利益は増加した一方で、広告宣伝費や運賃・保管料が増加したこと等により、営業利益は20億21百万円（同8.3%減）、経常利益は23億69百万円（同7.7%減）、投資有価証券の売却益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は23億86百万円（同31.0%増）となりました。

また、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）　（単位：千円、%）

製品群			前年同期		当第２四半期（中間期）		増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ等	18,577,044	47.7	19,329,962	48.4	752,917	4.1
		デザート	2,608,277	6.7	2,349,099	5.9	△259,177	△9.9
		パスタ＆ソース	3,352,280	8.6	3,246,532	8.1	△105,747	△3.2
		総菜	3,490,209	9.0	3,769,552	9.5	279,343	8.0
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,891,703	4.9	1,842,379	4.6	△49,323	△2.6
		ギフト・その他食品	1,579,912	4.1	1,674,489	4.2	94,576	6.0
		計	31,499,427	81.0	32,212,016	80.7	712,589	2.3
	業務用食品		6,180,436	15.9	6,418,266	16.1	237,829	3.8
	ペットフード・バイオ他		1,063,760	2.7	1,131,129	2.8	67,368	6.3
	計		38,743,624	99.6	39,761,411	99.6	1,017,787	2.6
その他			173,284	0.4	156,341	0.4	△16,942	△9.8
合　計			38,916,908	100.0	39,917,753	100.0	1,000,844	2.6

「ツナ等」では、主力の油漬缶詰「シーチキンＬフレーク」等が好調に推移したほか、「オイル不使用シーチキン」や「食塩不使用シーチキン」、さらに開けやすく後片付けが簡単なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが伸長し、売上高は前年同期比4.1%増加しました。

「デザート」では、新製品の「シャリッと！デザート」シリーズが堅調に推移しましたが、主力の「朝からフルーツ」缶詰やその他のフルーツパウチ製品が低調で、売上高は同9.9%減少しました。

「パスタ＆ソース」では、パスタはサラスパが堅調でしたが、主力の結束タイプのスパゲッティ「ポポロスパ」が低調でした。パスタソースは缶詰のミートソースが好調でしたが、パウチソースが低調で、売上高は同3.2%減少しました。

「総菜」では、主力の「シャキッと！コーン」缶詰が低調でしたが、「シャキッと！コーン」パウチをはじめとする「Home Cooking」シリーズや、さば・さんま・いわし調理品が伸長し、売上高は同8.0%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、ふりかけ類は「天下無添ふりかけ」や「ぶし若丸ふりかけ」が好調で、さらに「わかめ混ぜごはん」が伸長しましたが、削りぶしやのりが低調で、売上高は同2.6%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、ギフト製品が好調で、さらに電子レンジで簡便に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が堅調に推移し、売上高は同6.0%増加しました。

「業務用食品」では、コンビニエンスストアおよび製菓・製パン向けの販売が堅調に推移し、売上高は同3.8%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、バイオ製品が低調でしたが、ペットフードにおいて主力の「無一物」シリーズが好調に推移したほか、スティックタイプのおやつ「無一物舌福」シリーズが伸長し、売上高は同6.3%増加しました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の内容

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より45億55百万円増加して、849億48百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が６億18百万円減少したものの、商品及び製品が16億50百万円、有形固定資産のその他（純額）が11億43百万円、電子記録債権が10億69百万円、投資有価証券が９億45百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より20億44百万円増加して、327億72百万円となりました。これは主に、未払金が19億22百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が19億65百万円、流動負債のその他が16億32百万円、未払法人税等が５億21百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より25億11百万円増加して、521億75百万円となりました。これは主に、繰延ヘッジ損益が１億52百万円減少したものの、利益剰余金が20億57百万円、その他有価証券評価差額金が６億20百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の61.8%から61.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、１億50百万円減少し、38億66百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の営業活動により増加した資金は15億75百万円（前年同期は26億23百万円の増加）となりました。これは主に、未払金の減少や棚卸資産の増加があったものの、税金等調整前中間純利益の計上や仕入債務の増加があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の投資活動により減少した資金は10億５百万円（前年同期は14億65百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の財務活動により減少した資金は７億20百万円（前年同期は５億87百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出や配当金の支払によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想については、原材料やエネルギー価格および為替相場の動向が不透明のため、2026年５月13日の発表から変更しません。連結業績予想を修正する場合には、直ちに開示します。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,017,276	3,866,329
受取手形、売掛金及び契約資産	10,916,338	11,306,774
電子記録債権	6,189,473	7,259,275
商品及び製品	10,308,219	11,958,357
仕掛品	63,790	60,426
原材料及び貯蔵品	3,883,610	3,839,740
その他	2,634,722	2,016,242
流動資産合計	38,013,431	40,307,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,407,760	6,389,784
土地	3,040,162	3,124,585
その他（純額）	5,150,941	6,294,060
有形固定資産合計	14,598,864	15,808,430
無形固定資産	1,166,593	1,224,937
投資その他の資産		
投資有価証券	22,874,997	23,820,396
退職給付に係る資産	3,281,994	3,334,561
その他	460,544	456,512
貸倒引当金	△3,159	△3,277
投資その他の資産合計	26,614,376	27,608,192
固定資産合計	42,379,835	44,641,560
資産合計	80,393,266	84,948,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,291,302	12,256,709
１年内返済予定の長期借入金	809,884	843,184
未払金	5,830,938	3,908,333
未払法人税等	592,871	1,114,618
賞与引当金	385,992	398,941
その他	1,019,213	2,651,562
流動負債合計	18,930,203	21,173,348
固定負債		
長期借入金	4,261,771	3,840,179
役員退職慰労引当金	889,506	949,397
退職給付に係る負債	20,635	22,457
その他	6,626,694	6,787,590
固定負債合計	11,798,606	11,599,625
負債合計	30,728,809	32,772,974

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	34,086,414	36,143,427
自己株式	△2,163,292	△2,163,292
株主資本合計	34,307,319	36,364,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,940,456	13,561,393
繰延ヘッジ損益	106,860	△45,828
為替換算調整勘定	555,505	647,226
退職給付に係る調整累計額	1,754,314	1,648,608
その他の包括利益累計額合計	15,357,137	15,811,399
純資産合計	49,664,456	52,175,732
負債純資産合計	80,393,266	84,948,706

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	38,916,908	39,917,753
売上原価	30,398,279	31,223,215
売上総利益	8,518,629	8,694,537
販売費及び一般管理費	6,314,365	6,672,930
営業利益	2,204,263	2,021,607
営業外収益		
受取利息	129	61
受取配当金	218,804	243,608
持分法による投資利益	116,987	73,326
仕入割引	22,264	26,868
賃貸料収入	33,140	33,394
その他	9,726	26,656
営業外収益合計	401,053	403,916
営業外費用		
支払利息	14,852	26,905
賃貸収入原価	13,843	12,866
その他	9,504	16,435
営業外費用合計	38,200	56,207
経常利益	2,567,116	2,369,316
特別利益		
固定資産売却益	969	8,046
投資有価証券売却益	26,219	1,059,568
補助金収入	9,357	23,641
受取補償金	－	14,070
特別利益合計	36,545	1,105,326
特別損失		
貸倒引当金繰入額	－	118
固定資産除却損	351	5,785
固定資産売却損	－	3,282
投資有価証券評価損	－	6,893
特別損失合計	351	16,079
税金等調整前中間純利益	2,603,310	3,458,563
法人税等	782,149	1,072,180
中間純利益	1,821,161	2,386,382
親会社株主に帰属する中間純利益	1,821,161	2,386,382

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,821,161	2,386,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,178,537	620,936
繰延ヘッジ損益	76,153	△152,689
退職給付に係る調整額	△46,502	△107,139
持分法適用会社に対する持分相当額	△216,869	93,155
その他の包括利益合計	1,991,319	454,262
中間包括利益	3,812,481	2,840,645
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,812,481	2,840,645
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,603,310	3,458,563
減価償却費	677,699	775,602
受取利息及び受取配当金	△218,933	△243,670
支払利息	14,852	26,905
為替差損益（△は益）	6,447	4,249
持分法による投資損益（△は益）	△116,987	△73,326
投資有価証券売却損益（△は益）	△26,219	△1,059,568
補助金収入	△9,357	△23,641
受取補償金	－	△14,070
売上債権の増減額（△は増加）	△1,923,649	△1,460,238
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,244,643	△1,720,157
未収入金の増減額（△は増加）	76,598	304,294
仕入債務の増減額（△は減少）	557,112	1,965,406
未払金の増減額（△は減少）	△2,280,021	△1,949,121
未払消費税等の増減額（△は減少）	533,615	△281,744
その他	1,976,719	2,142,840
小計	3,115,828	1,852,323
利息及び配当金の受取額	290,767	285,741
利息の支払額	△16,304	△26,561
法人税等の支払額	△776,592	△573,944
法人税等の還付額	－	195
補助金の受取額	9,357	23,641
補償金の受取額	－	14,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,623,056	1,575,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,191,348	△1,877,762
投資有価証券の取得による支出	△2,202	△2,230
投資有価証券の売却による収入	34,362	1,132,300
その他	△306,309	△257,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,465,497	△1,005,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	－
長期借入金の返済による支出	△325,012	△388,292
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,291	△3,324
配当金の支払額	△282,316	△329,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	587,379	△720,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	272	△387
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,745,210	△150,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,961	4,017,276
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,230,172	3,866,329

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益または税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

３．2027年３月期　中間期決算短信（連結）補足説明

（１）売上高・利益の増減要因等

（単位：百万円、％）

	前年同期	当第２四半期（中間期）	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 38,916	100.0 39,917	1,000	102.6	販売函数　＋36千函　＋0.4% 製品群別売上高 ・ツナ等　＋752百万円　＋4.1% ・デザート　△259　△9.9 ・パスタ＆ソース　△105　△3.2 ・総菜　＋279　＋8.0 ・削りぶし・のり・ふりかけ類　△49　△2.6 ・ギフト・その他食品　＋94　＋6.0 ・業務用食品　＋237　＋3.8 ・ペットフード・バイオ他　＋67　＋6.3
売上原価	78.1 30,398	78.2 31,223	824	102.7	・売上原価率　＋0.1ポイント
売上総利益	21.9 8,518	21.8 8,694	175	102.1	
販売費及び一般管理費	16.2 6,314	16.7 6,672	358	105.7	・販売奨励金　△37百万円　△3.9% ・広告宣伝費　＋117　＋16.7 ・荷造運賃・保管料　＋92　＋5.4 ・研究開発費　＋24　＋15.4
営業利益	5.7 2,204	5.1 2,021	△182	91.7	
営業外損益	0.9 362	0.8 347	△15	95.8	・受取配当金　＋24百万円 ・持分法による投資利益　△43
経常利益	6.6 2,567	5.9 2,369	△197	92.3	
特別損益	0.1 36	2.8 1,089	1,053	―	・投資有価証券売却益　＋1,033百万円
税金等調整前中間純利益	6.7 2,603	8.7 3,458	855	132.9	
法人税等	2.0 782	2.7 1,072	290	137.1	
親会社株主に帰属する中間純利益	4.7 1,821	6.0 2,386	565	131.0	

設備投資額	1,648	2,052	403	124.5	無形固定資産含む
減価償却費	677	775	97	114.4	無形固定資産含む

（２）販売費及び一般管理費の内訳

（単位：百万円、％）

	前年同期	当第２四半期（中間期）	増減額	前年同期比
販売奨励金	964	927	△37	96.1
広告宣伝費	700	817	117	116.7
荷造運賃・保管料	1,726	1,819	92	105.4
給料・賞与（引当金繰入額含む）	955	981	26	102.8
退職給付費用	14	△44	△58	△317.5
研究開発費	160	185	24	115.4
その他	1,792	1,985	193	110.8
合計	6,314	6,672	358	105.7